

## 関八州見晴台道迷い(2020年10月)

下山時の尾根分岐での道迷い。右往左往し、予定ルートではなかったが下山することができた。



## 解説

ところが予定していた登山道をGPSは示さない...これは林業道?なんか外れてる?いや合ってる?と右往左往してロスは1時間以上。そもそも進んだルートを見誤った??色々判断誤る結果となりました。(HP参照)

道迷いの三大要因の一つは、この事例にみられる「下山時の尾根分岐」。しかも、間違った尾根に直進してしまうパターンが圧倒的に多いのだ。

また、道迷いの心理で不思議なところは、「これは林業道?なんか外れてる?いや合ってる?」と自問自答を繰り返してしまう。しかも、GPSの地図アプリを見ているのに...

道迷いの初期の段階では、現実を信じることができない。「予定していた登山道をGPSが示さないのに合っている」と思い込んでしまう。そして、根拠のない行動が始まり、右往左往してしまう。典型的な遭難に至るパターンともいえる。これが尾根ではなく、沢の場合は滝が出てきて万事休す。である。

①現実を受け入れ、②地図の先読みを行い、③迷った元の地点まで戻る。これ以外に助かる道はないと思って行動するよう気を付けたい。